

刊夕日九十月一十

# 常磐宮新聞

定価 一紙五銭 一月一元五角 半年七元 一年十三元  
発行所 常磐宮新聞社 印刷所 常磐宮新聞社

## 石城郡下兒童 唱歌會を聴く

根本邦雄

十一、雁がわたる尋三女齊唱大分上手に歌つてくれました、あつさり歌つたところは文部省歌曲の特有を充分發揮してゐました。唯最後の小節に延長拍子が短縮された事に気がつかなくつたでせうか

十二、暮れゆく海邊高一二男女二部合唱、濱の情景を音楽的に二部合唱とは誠に歌曲として藝術的な事と見受けました。おしい事には曲想に注意しないではありませんでしたか？浪にとびかふ鳴のつばさが夕陽にキラ／＼輝きやがて静かな濱邊に

## ノット

伊達巻は 孺子より も博多の方

方がきつちり締めります。然し、一方縮緬の着物を始終着る人は博多は摺れて着物を傷めることもありません。

一人の情景を増して太陽がかくれ夜の濱邊に暮は落ちるではないですか。所々に夢心に人を感動させたに氣になりました。終りにお氣にめざぬ申様であります、ピアノ伴奏

## 奏者の先生が矛盾したべ

タル使用が見受けました。如何でせうフォルテの個所に來て左のペダル及右のペダルを一緒に踏んだのにお考へにしませんか？そうしてピアノは可愛教へ子の頭に手をあてなでやる様に愛して欲しい事を深く感じました。

## 二明日の献立

【朝】納豆 汁どうふ ねぎ

【晝】うどん えび しひ たけ せり 玉子の小田まきむし

【晚】大根 ごまみそ るふさ

十三、雨降りお月さん尋四女遊戯伴唱に猶伴奏が入つたら一層の美が加へられたでせう。

十四、山ノ秋尋四女齊唱發音は幾分不明瞭に流れてゐた様ですね、もつと口形について指導した申し分ないでせう。



## 「短い小説」について

堤光泰 「大は小を兼ね」といふことは少くとも、文學に關する限り當らない。その逆の小を以て大を兼ねることが文學の心すべき要事である。西行の山家集にある「わづかなる庭の小草の白露をもとめて宿る秋の夜の月」が言はゞ身を以て示した上行の定義みたいなものである。「一葉の梧桐秋を報ず」といつた底の微小を通して絶大を觀照する心掛けが文學の行くべき道である。

今年度の最大のトピックであつた「純文學の危機」とは要するに、この課題を如何に果すかに懸つてゐる。所謂「日本的な」傳統は残つてゐる筈、要はその再生である。古くさいやうでも、この努力が眞摯に始められなければ、現在よりはもつと生々しく思ふ。近頃の讀賣紙上で誰やらも言つてゐたが過去に短形式の文學を持つ日本は、その短篇小説は外國のものにむしろ勝つてゐる。天成の短篇作家メリメにだつて、或はモオパッサンにだつて匠敵するものは少くない筈だ。「短い小説」への關心と努力が統体の全的な把握に向けられる限り純文學は決して減びない。

十一月の「新潮」に於て瀬沼茂樹氏が「短い小説」のことを論じてゐた。氏は和歌を完成した境地を「日本のな」精神と呼び、それが所講今回の純文學を規定し、それが自我の解體の結果である近代文學の分裂によつて性格づけられてゐると見てゐるのは正しい。なるほど生を斷章的に靜觀するところが「短い小説」の基調をなしてゐる。と同時に、生を全體的に凝縮して觀ることも「短い小説」の性格を作つてゐる筈だ。少くとも日本の在來の和歌、俳句の心境は、さういふ傾向にあつた私は思ふ、純文學の第一に生べき道は「短い小説」にあり、そして、それは解體された一片に「短さ」を持つことではなくて、小なる物象に大なる世界を體現する「短さ」でなければならぬと

# 中村齒科醫院

平町鍛冶町七

## 藤沼醫院

平町紺屋町 電話五〇七番

## 改築披露

最新式設備ト 進歩セル技術

岡山寫眞館

電六二五



**玉屋洋品店**  
平町田町通電話六五六番

二間か三間位のよみ心地よい文化住宅  
最初からお金が入らずに好きな場所へ好きな家が  
十圓位の家賃を拂つて住んで居る中に五六十年  
で自分の家となる方法  
俸給生活者絶好の機會

◇月賦建築(第一回申込受)  
御希望者は至急御相談にお出下さい  
平町南町十一番地廿三夜尊側  
寶商事社 伊東

貸切の●●●  
御用命は！  
獅子吼(四四九)ノ勢デ  
マツサキ  
眞先ニ……………(マツサキ)  
三九二タクシーへ!!!

◎高價買入—金、銀、債券  
◎安價販賣—時計と眼鏡  
◎親切勉強—時計のお直し  
平町前通り  
星野時計店

外科專門  
花柳病專門  
木村外科醫院  
入院自炊の便あり  
平町五丁目橋際  
電話三〇九番

### 磐中對平商

## 實力正に互格か 興味價值満點!

### 守備は平商一日の長

### 磐中は斷然打撃優勢

磐陽球界今シーズンの掉尾を飾る磐中、平商定期野球戦は既報の如く来る廿三日第一回戦廿六日

古河を十三對三、平鐵を廿四對四の大スコアでロードゲームの大勝を得た磐中軍の實力も恐るべきものがあり前投手杉浦が捕手に返り咲き 健闘すれば赤坂、渡邊の平商バツテリに比して石坂、杉浦のトリオは何等の遜色も見出せない、勝敗を決する打撃力も小井戸、金成、石坂、杉浦、百澤と並んだ磐中軍が

磐中軍は 雪辱の氣に燃えて必死の練習を積んでゐるから當日の白熱的接戦は豫想に難くない發表された

## 大時化被害に

### 野菜類騰る

### 各村の出荷薄

### || けふ正午現在値 ||

坂邊原部 木本野田 赤渡菅阿 森々 佐宮日沼 投捕一二三遊左中右 坂澤中野久戸邊金野 石百田秋金小渡金小

平窪、赤井、神谷、草野、飯野、高久等平町近郊の農作物は過日の大暴風雨に殆んど全滅に近い被害で此の爲め平町市場への出荷薄く相場は急激に奔騰してゐる十九日正午現在の平町小賣相場は

△山芋百匁五錢△葱小把二錢△ゴボ一貫目十五錢△人参一貫目十五錢△大根丸一ヶ三錢長一把五錢△馬鈴薯百匁二錢△里

組合村、また廿七日には湯本消防組で検閲が行はれる

## 陪審員の抽籤執行

廿二日に 平町の昭和八年度に於ける陪審員候補者廿名の抽籤は来る廿二日午前十時より役場會議室に佐々木、吉田寅花澤三町議が立會の許に執行される

## 除隊兵 續々歸る

平町材木町出身藤清一郎氏は若松廿九聯隊を除隊し明廿日午後三時五十三分平驛着にてまた堂ノ前遠藤一郎君は同隊より歸郷する

## 醬油に相次いで 味噌も値上

### 一貫目五錢宛

先般の醬油値上に連れて平町味噌醸造組合にても十八日午後二時から平町住吉屋本店に臨時總會を開き會長山崎與三郎氏以下出席大豆暴騰に伴ひ来る十二月一日から平町に於ける味噌小賣市價を一貫目五錢値上げする事に決定した

八年振りの 磐城高等女學校にては本日午後一時より八年振りて保護者會を催したが出席者は三百六十二名にて校長正木貞二郎氏及び學級主任との懇談あり終つて生徒成績品展覽會を観覽した

## 民有林指導に 積極的に乗出す

平營林署では官制の改正に伴ひ愈々地方民有林の指導に乗り出す事となり目下種々の準備に忙殺されてゐるが同署の指導目標は

- 一、造林計畫、二、林野産物の増殖計畫、三、歩道馬道等の運搬計畫、四、有害鳥獸の驅除法、五、林野測量以上

平商考查開始 平商業學校にては本日より全校生徒に對し第二學期臨時考查試験を開始した

## 平の被害状況聴取

### けふの内務部長一行

昨報部下漁村の暴風雨被害調査の爲め昨日午後來平した赤土内務部長は本日植田勿來、小名、江名、豊間等の町村を視察して正午平町役場に到着會議室に於いて青沼町長より平町の被害状況を聴取して後新川の巨敷工事現場を視察して午後二時四倉漁港に出發した

## 會議期日

平商で一定 平商業學校にては校内會議の期日を左の如く決定毎月開く由

## 遊戯講習

平第二小學校にては來週より一般希望者に對し遊戯の講習を行ふ事になつたが期日は毎週木曜日放課後に

## 小川青年役員

郡下小川村青年團では来る廿七日午後一時より同村小學校で役員會を開き役員の改選を行ふ筈

## 磐城高女でラヂオ体操

磐城高等女學校にては來週より月、木の二日間体育獎勵の爲め午前八時より三十分ラヂオ体操を行ふと

## 平町人事

- △南町七八 内山哲雄氏長 男友哲
- △下川原四 松永精三男三郎
- △山芋百匁五錢△葱小把二錢△ゴボ一貫目十五錢△人参一貫目十五錢△大根丸一ヶ三錢長一把五錢△馬鈴薯百匁二錢△里

# 刻々迫る...

## 師走の足音

### ▽羽子板の魅力に

### ▽氣早さを見せて

### 今日此頃の平町打診

株式の暴落や物價高など、空景氣かどうか、兎も角も不景氣はどん底にあつて幾分耳よりな話がポツリ／＼と地方人の胸をときめかせて、愈々本年の大決算月である師走も、もう十日の後に迫つて來た

### 二、三、四、五町目・田町

驛前通り等平町目抜の商街... 際物屋さんの店先にはもう既に早く彩色麗かな三年型?の羽子板が訪れる春の魅力を一杯にたゞへて街行く人に笑ひかけて居り爽やかな秋色に装ひ凝らしてゐた呉服屋さんや洋品店の飾り窓も何時の間にかどつしりと重みのある冬物と生氣の躍動する様な美しい初春物に置き替へられた、平の商店街も可成り神經が過敏になつて來た事を思はせる

平驛の貨物ホームを中心に右に左に物凄いスピードで疾驅するトラックや荷馬車には申し合せた様に清酒樽の菰かぶり、ビール罎、米

花街某料亭の女將朱羅宇の長煙管に小器用な手付きで白梅の刻みを詰めながら此頃の景氣ですつて... 分りませんよでもどうやらこ

## 見る影もなく 大破した喜榮丸

### 今朝さびしく...

### 磐城丸に曳かれて歸る

昨報石城郡江名町黒川喜一郎所有の喜榮丸は既記の如く千葉縣沖合で発見されたので同日直ちに磐城丸が出動し今朝九時乗組員全滅して見る影もなく大破した喜榮丸を曳航し江名濱に入港したが此の外豊間村の多福丸及び四倉の四十八社丸二隻の沈没は疑ひの餘地なきものと見られて居る

### ツンポ老婆

自動車に轢かる

石城郡小名濱町上明神町一

明日のラマオ  
二十日  
報豫氣天  
今晩は北西の風  
晴れ明日は晴れ  
たり曇つたり

### 今晩の部

- 後六〇〇 子供の時間
- 童話劇「門人と語る一茶」
- 名古屋おもちゃの家
- 後七三〇 講演「我國馬事の大勢」帝國馬匹協會
- 後八〇〇 獨唱とチェロ
- 獨奏「ヘレンモリスリー」
- ピアノ伴奏「フレットゲイ」
- 後八、四〇 放送舞臺劇
- 片岡我童中村時藏一座
- 後九三〇 滿洲より講演

### 明日の部

- 前九、一〇 榮養料理「ギヤベツの味噌汁」刻スル
- バの飴煮「甘諸の甘辛煮」
- 榮養研究所
- 前九、三〇 子供の時間
- 童話と歌謡 小林操榮社

平町の昨日今日は慌しい特有の活氣を見せて刻々師走から來年へ近付いて行く...

河ウメ(五)に衝突し前額部に全治三週間の傷を負したが前記ウメはツンポな爲めサイレンが開かえず此の災難に遭つたものであると

### 便所で...

### 俄にお産

### 胎児が死亡

平町五色町貸座敷業萬歳樓専松永精妻ルメ(三〇)は妊娠満月の身であつたが十八日夜十時頃便所内にて俄に産氣つき胎児を便壺の中に生み落し死亡せしめたので届出により平署員が檢視した

### 子供を預けた儘 行衛を晦す

### 留守中に 農家燃ゆ

石城郡湯本町字傾城居住日雇業鈴木政夫(四三)は長女トキ子(三)を抱へて生活に窮し去月廿五日知人の同町三函古物商古山義輝方に預けた行衛を晦したと

留守中に 農家燃ゆ  
石城郡川前村字上桶賣居住農家佐美末吉(四七)方十七

石城郡湯本町字傾城居住日雇業鈴木政夫(四三)は長女トキ子(三)を抱へて生活に窮し去月廿五日知人の同町三函古物商古山義輝方に預けた行衛を晦したと

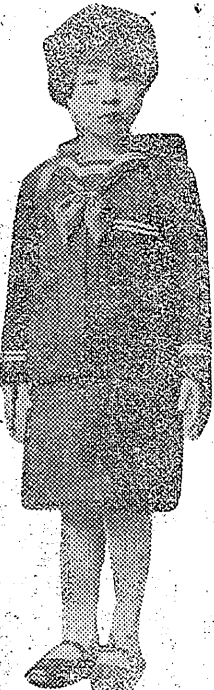
### 平裁判たより

石城郡好間村大字下好間字大館二百四十六番地古物商萬歳太一郎(五〇)は移轉しても届出をなさず古物商取締法細則違反として罰金二圓

## 第二小學校 標準服

輕快で丈夫な第二小學校通學用標準服を豊富に取揃へて最廉價にて提供

スカート付 30 10 緑ヨリ



ふかや洋服店 平二 電203

# 慕来剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第二百四席 平手造酒

親の前で惚け話し

常陸の國潮來は水戸領で古くから此處には遊女屋がある、留次郎一行は松屋と云ふ家へ上る、この潮來は風雅な所で十二橋と云ふ名所がある、それに宮本茶村と云ふ詩人も居りました

と話してゐる所へ歸つて来た、聞くと潮來へ遊びに行つたとの事  
父「それはよかつた」  
偶には中の廣梯子を上つて白粉の匂ひを臭くが、いと笑つて居りました、する

遊び出すと悪い人間にならなければよいと心配する親馬鹿とは能く云つたもの父「婆アさんま、だ留は歸らぬやうだな」  
母「歸りませんよ」  
父「歸りませんよで済ましてはいけない、あんな道樂者にならうとは思はなかつた」  
母「斯うなつたのもお前さんが悪いんだよ、さうぢやないか留のやうに本ばかり讀んでゐては身體に障る、たまには遊びをするがよいと進めて身持を悪くしたんですよ、して見れば小言を



『潮來出島の真狐の中で菅蒲咲くとはしほらるや』と云ふ俗語もある、これが度々、逸の元祖ださうで、今以て江戸時代から生き残つてゐる老人は宴會の席で一ツ潮來をやらうかななどと云ふ、又この地に居る娼妓は吉原同様源氏名です、それに空じまひと云つてゐるだけの娼妓を呼んで騒ぎ、その中から氣の入つた女を引抜く、ちよつと變つた遊びです留次郎の相方に出たは雛鶴と云つて二十一二になる仇者、留次郎の初心な所に打込んで大そう大事にした、翌朝は早く潮來を出て舟で戻る、送り出した雛鶴が

とその後留次郎は折々家を空ける、親父の留吉は若い内には有がらだ、あいつも馬鹿ではない、悪いと氣が付けば止めるだらうと知つて知らぬ顔をしてゐたが次第々々道樂が慕つて来た最初は親の方から遊びも偶にはいと云つたが、さて

云ふ所はありますまい、留は親の云ふ事を聞いて道樂者になり孝行者だと思つて居ます、どうせ彼に譲る身代ですから今潰された所で惜いとも思ひませぬ」  
父「馬鹿な事を云ひなさんな、オヤ、歸つて来た、大分酔つてゐるよ」

留次郎は赤い顔をしてそれへ来て  
留「其後は御無沙汰をいたしました」  
父「何が御無沙汰だ、何處へ行つてゐた」  
留「潮來の松屋に遊んで居りました」  
父「呆れた奴だ、親の前で女郎屋へいつたと能く云へたもんだ」  
留「今更隠したところで仕方がありません、そこで正直に申し上げました」  
父「とんでもねえ奴だ、以來そんな所へ足を入れると勘當するぞ」  
留「之は恐縮の至り、女は私を深く思ひ詰めて居りまして一夜逢はねば千秋の思ひ、其故自然と足繁く通ふ事にもなります」  
父「親の前でのろけるな」  
留「全く彼の女は私を戀して居ります、一體戀は理智を以て論ずべきものではございませぬ、あれは感情の出来事、道理に外れてゐる所が最も有難い事と存じます」  
父「馬鹿野郎、遊びに行くには金が要るぞ、その金は何處から出ると思ふ」  
留「左様大概算筒の抽斗から出ますか、それとも家根裏から這ひ出しますか」  
父「家守ではねえ」  
留「一寸お待ち下さい、金さへ使はずば私が遊びに参りますともこの身に痛みはありますまい」  
父「一文なしで遊べると思ふか」  
留「所が遊べます、私の相

方雛鶴は身上りをして招んでくれます、何んと嬉しいではございませぬか」  
父「此奴は氣違ひだ、彼所へゆけ」  
と叱り付けたが留次郎はその後も潮來へ行く、と茲に間違ひが起りましたがこれは笹川の繁蔵の利益になつたは不思議

## 一般物質 類券債種各

### 店質井三

岸川目丁四町平  
番六〇六話電

紙質純良・印刷鮮明  
御名前入用箋  
百枚綴一冊廿錢(三冊以上割引有)  
平・長橋 常磐毎日印刷株式會社  
(電 630)

## 市原醫院

平町田町(電話二一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎  
外科一般、婦人科 市原陸郎  
外科、梅毒、淋病 市原三三男

入院隨時

### 胃腸病妙藥

昔ハ料理ニ必ズシ、茸ヲ用タリ今ハアマリ使ハズ甚不都合ノ次第ナリ「シ、茸」ヲ煎ジ臥寝前ニ服用スレバ胃腸ヲ整ヘ便通正シク氣分爽ナリ諸病ヲ未然ニ防グ効能アリ人助ノ爲メ廣告ス此ノ秋は茸類ノ出ル時節ナレバ新茸程効能著シ各家庭ニテ百々位ツ、常備シ置ク事肝要ナリ

## 高級貸切 不一タクシー

電話 32

専門  
◎入院應需  
産婦人科  
花柳病科  
井坂醫院  
平町田町 電話五五九番